

コトホギ

vol. 05

2023.05

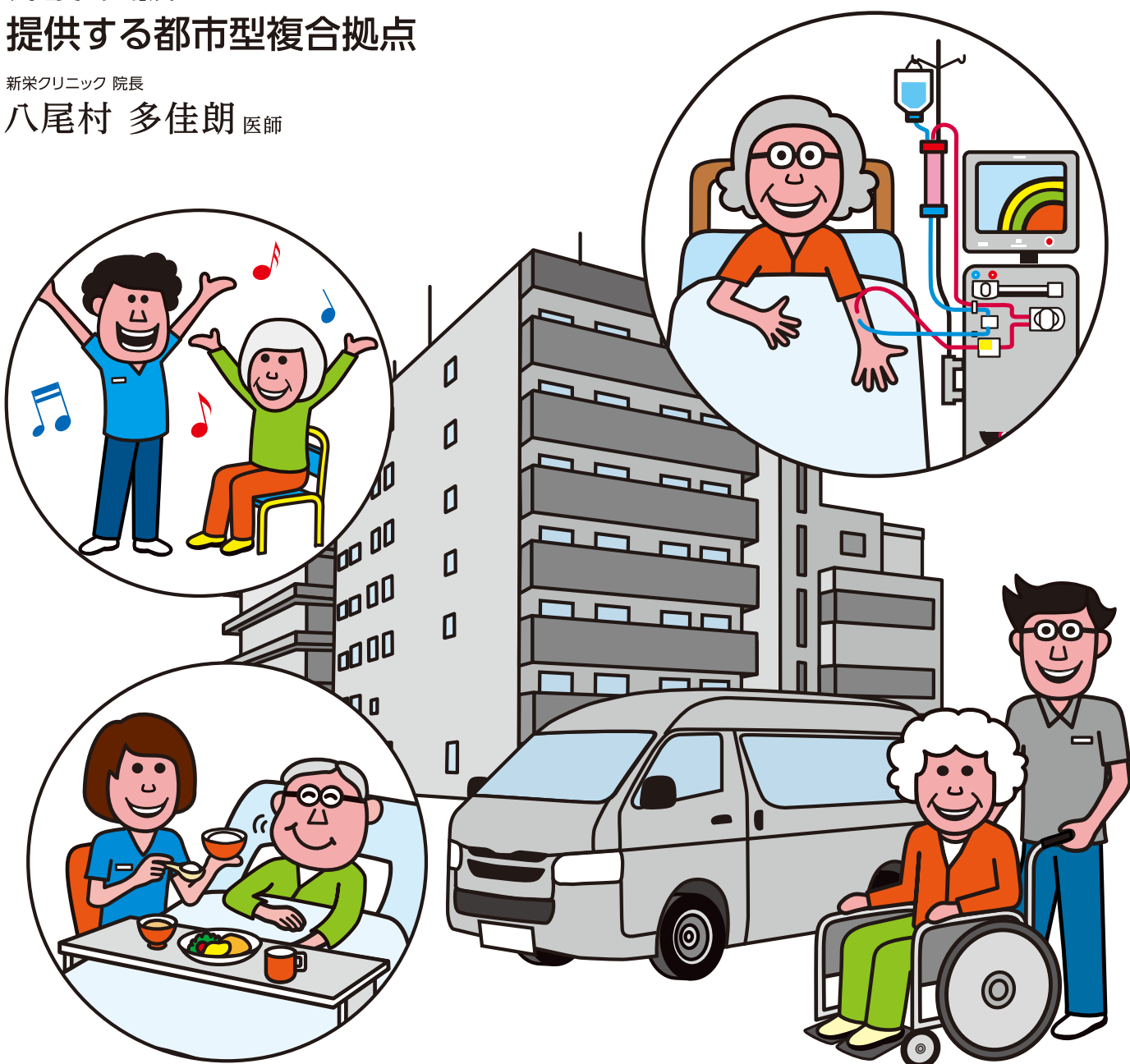
DOCTOR INTERVIEW

第4回

透析医療と総合的な
介護・支援サービスを
提供する都市型複合拠点

新栄クリニック 院長

八尾村 多佳朗 医師



透析医療と総合的な 介護・支援サービスを 提供する都市型複合拠点

透析治療を専門とする新栄クリニック、
介護付有料老人ホーム エイム新栄、
小規模多機能型居宅介護新栄、グループホーム新栄、
そして新栄居宅介護支援事業所の各機能と使命を、
新栄クリニックの八尾村院長をご紹介します。



新栄クリニック 院長
やおむら たかあき
八尾村 多佳朗

プロフィール
1995年 名古屋大学医学部卒業。
同年公立陶生病院研修医。
1999年 春日井市民病院腎臓内科医員。
2002年 名古屋大学大学院医学系研究科
生体防御学講座。
2006年 (独法) 国立病院機構名古屋医療センター
腎臓内科医長。
2019年 医療法人生寿会かわな病院。
2021年 医療法人生寿会新栄クリニック院長。
所属学会
日本内科学会、日本腎臓学会、日本透析医学会

DOCTOR INTERVIEW

第4回

名古屋の中心部近くに展開する 医療と介護の複合拠点

1991年2月に、医療法人 生寿会の3人の創業メンバーの一人であった岸常規先生を初代院長として新栄クリニックが開院して以来、名古屋の中心部、JR千種駅近くで、透析治療とさまざまな介護サービスを提供する複合拠点として、地域社会に貢献してきました。現在は、内科診療や透析治療を専門とする新栄クリニック、特定施設入居者生活保護（以下、特定施設）の基準を満たしたエイム新栄、多様な介護ニーズに応える小規模多機能型居宅介護新栄、グループホーム新栄、新栄居宅介護支援事業所で構成され、献身的なスタッフとともに、患者さんや入居者の方に安心して治療や介護を受けていただけるよう努めています。

施設に入居される方は、病院への通院が容易でないことも多いですが、エイム新栄やグループホームに入居されている方は、一般内科診療を生寿会グループの覚王山

内科・在宅クリニックとかわな病院からの訪問診療、認知症等については中メンタルクリニックからの往診で治療を受けていただいています。また週一回かわな病院から整形外科ドクターが当院での外来診察を担当し、入居者の方からは通院の負担が軽減されると好評をいただいています。

通院・入居患者さんの 透析治療を担う新栄クリニック

2021年4月に、前任の山本富男先生を引き継いで院長に就任しました。私は、これまで一貫して急性期病院で勤務し、病気を治すことに専念してきましたが、高齢の方は治癒するばかりではなく慢性的に病氣と付き合うことが多くなります。透析治療は生涯にわたる治療であり、これまでの経験を活かして、患者さんが日々の生活を穏やかに過ごしていただけるよう努めたいと考えています。近年、超高齢化がさらに進んだことで通院が困難になった患者さんが増えつつあります。当院は、同じ建物内にある

エイム新栄とのシームレスな連携のもと、透析治療を安心して受け続けていただくことが特徴だと思います。

現在、感染症に対応した個室を含む40床を有し、電子カルテと統合した先進の透析情報管理システムや血液透析濾過（HDF）を駆使して、安心して治療を受けていただけるよう取り組んでいます。また法人内の病院・施設と情報を共有することで、当院の患者さんが法人内の他病院に入院されても、新栄クリニックから治療に関する情報を相互確認できることも大きなメリットです。また地域医療支援病院との地域医療連携ネットワークシステムにより、当院患者さんの情報提供をいただくなど連携の効果を高めています。

介護度の高い方や透析患者さんが 安心して過ごせるエイム新栄

複合拠点の中心となる7階建ての建物には、1階に受付や食堂・厨房、2階に新栄クリニック、3～7階に二人部屋も含め71の居

室をもつエイム新栄があります。2014年10月にサービス付き高齢者向け住宅として開設し、2019年4月に特定施設の指定を受けました。特定施設のメリットは、介護度の高い方が切れ目なく介護サービスを受けることができることです。居室スペースに隣接して、介護スペースやリハビリテーションスペースを適度に配置し、毎日できるだけ快適に過ごしていただくための工夫をこらしています。介護にあたるスタッフが、生寿会の一員として「真心」のこもった介護サービスを実現するために努力している姿を見ると頭が下がる思いです。

近年は法人全体で教育・研修に一層力を入れるとともに、国家資格である介護福祉士の受験をサポートすることで、同資格取得率も高くなっています。介護度の高い方が入居して透析治療を受けられる施設としての役割は、今後さらに重要なものになっていくと考えています。エイム新栄をはじめ各施設のスタッフはみな本当に頑張っているの、ドクターとして安心して任せられると思っています。



新栄クリニック：日々の透析治療に欠かせない、超純水を使った透析液の厳格な管理にあたる臨床工学士

新栄エリア

新栄クリニック 1F 2F

介護付有料老人ホーム
エイム新栄 1F 3F～7F



グループホーム新栄 3F 4F
小規模多機能型居宅介護新栄 2F
新栄居宅介護支援事業所 1F



新栄クリニック：2階の透析室では全40床を用意しており、透析導入前から維持透析までの幅広い医療を行う。医師、看護師、臨床工学士、看護助手、ケースワーカー、ケアマネジャーがスムーズな連携のもと、安全安心の透析治療を実施



グループホーム新栄：入居の方が快適な生活を送ることができるよう、専門のケアスタッフが心を込めてサポート

在宅での介護・支援ニーズに応える 小規模多機能型居宅介護新栄

「通い」を中心として、利用者の方の心身の状態や環境、希望に応じて、訪問や泊まりを組み合わせることで、認知症となっても在宅での生活が継続できるようにサービスを提供しています。通いが15名、宿泊が5名を定員としています。利用者のご自宅に伺い掃除や食事の用意などの生活援助も、1つの制度の中で完結できることが特徴です。

認知症の方に寄り添ったケアを 提供するグループホーム新栄

認知症高齢者の方を対象としたグループホームで、定員が9名です。専門的な知識や技術を身につけたスタッフが、介護と日常生活のサポートを献身的に行い、家庭的であたたかい環境の中で、入居者の方がその人らしい生活を送ることができるよう努めています。



エイム新栄：無理なく下肢の筋力の強化に取り組めるよう、居室の近くにリハビリテーションスペースを設置

地域の介護・支援ニーズを 丁寧にすくい上げる 新栄居宅介護支援事業所

2004年のオープン以来、中区、東区、千種区などのみなさまの介護や支援に関するご相談に応じるとともに、介護施設の紹介や福祉用具のあっせんなど、きめの細かいサービスを提供しています。

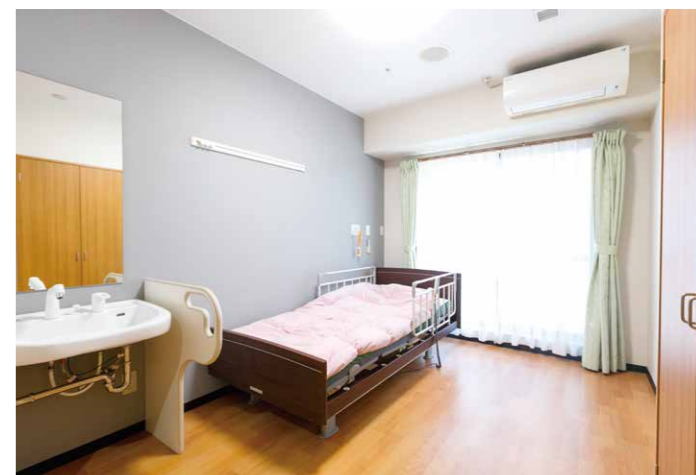
新栄エリアに展開する都市型複合拠点において、今後とも医療・介護に関わる質の高いサービスを提供していくためには、スタッフがいつも笑顔で安心して働ける環境づくりが大切だとつねに考えています。今後も患者さんや入居者の方の笑顔のためにも、さらにスタッフと心をひとつにして成長していきたいと思っています。



小規模多機能型居宅介護新栄：通いの方と入所の方が一緒になって行う体操レクリエーション



新栄居宅介護支援事業所：地域のみなさんのさまざまな介護・支援に関わるご相談に応じケアプランを作成



エイム新栄：電動介護ベッド、車椅子対応の温水洗浄機能付きトイレ、ミニキッチン、給湯器、クローゼット、快適な空調機、インターホン、ナースコールなどを標準装備

拠点 NEWS

医療法人 生寿会

かわな病院

地域医療研修の受け入れについて

かわな病院では地域医療研修として、名古屋市立大学医学部附属 東部医療センター(名古屋市千種区)より2年目の研修医受け入れを2023年4月から開始することとなりました。

研修医は実習のために4週間ずつ来られます。

地域に密着した医療は勿論、透析や在宅診療に加えて高齢者施設なども擁する当法人での実習を実りあるものにするため、各所協力をお願いすることもあるかと思いますが、宜しくお願いします。



五条川リハビリテーション病院

マイナンバーカードの健康保険証利用がはじまりました

当院では今年の2月よりシステムを導入し、専用の機械にピッとかざすだけでマイナンバーカードを保険証としてご利用いただけるようになりました。

マイナンバーカードは保険証の代わりとなるだけでなく、ご本人の同意があれば今までの処方薬や健診情報を確認することができます。高額な医療費が発生する場合でも、一時的な自己負担や役所への限度額適用認定証の書類申請手続きをする必要がなくなります。

またマイナポータル(ウェブサイト)はe-Taxに連携しているので、登録すると領収証を提出することなく簡単に医療費控除申請手続きができます。

「マイナ受付」と書いてあるうさぎのステッカーが目印です。

今後マイナンバーカードへの一体化が進んでいくなかで、当院でもよりよい医療の提供のために活用していきたいと思っております。



介護老人保健施設ごきその杜

新体制スタート

医療法人生寿会で36年間、日常業務から地域連携、現場指導、後進育成と、多岐にわたってご尽力いただいた、当施設の大橋看護師長が4月末日をもって勇退されました。

後任は、老人保健施設ヴィアかわなの、濱崎看護師長が担当し、4月から新体制でのスタートを切っています。

入所者さん・ご家族および関係者のみなさんへ今まで以上に安心・安全のサービス提供ができるよう、気持ちを新たにスタッフ一同邁進して参りますので、引き続きよろしくお願いたします。

大橋あや子師長! 今までありがとうございました、お疲れ様でした!



覚王山内科・在宅クリニック

ホームページリニューアルしました

覚王山内科・在宅クリニックでは1月30日に「あなたに寄り添う、かかりつけ医として。」をメインコンセプトに、ホームページをリニューアルしました。今回のリニューアルでは、当院でも特に力を入れている「糖尿病治療」と「緩和ケア」について、それぞれの専門ドクターが特設ページで説明しています。

スマートフォンやタブレット端末からもより使いやすくなっています。外来診療やオンライン・電話診療はWEBから予約ができますので、営業時間外でも24時間365日受付が可能です。

これからも内容の充実を図るとともに、覚王山～近隣エリアのかかりつけ医としてスタッフ一同努めてまいります。新しいホームページをぜひご覧ください。

<https://kakuozan.clinic/>



Information

| 第2回 |

NPO地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク
全国の集い in 名古屋 2023

愛と平和がつくる地域共生社会

～ともに暮らし、ともに癒し、ともに生きる～

NPO地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワークは、2022年に地域医療研究会とNPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワークが合併し設立した団体です。「安心して子育てができるいても障害があっても自分らしく暮らすことができるコミュニティーの創造」の理念のもと引き継がれてきた精神と歴史を踏まえ、市民を含む医療・介護多職種が連携・協働し、地域共生社会を作ることを目指し活動しています。

毎年「全国の集い」として大会を開催し、合併後の第1回全国大会は神奈川県平塚市で、そして第2回の今年は名古屋での開催が決まりました。

本大会 大会長は医療法人生寿会 理事長の亀井克典が務めさせていただきます。

多士済々なゲストスピーカーを招き、魅力的なプログラムを多数用意して、地域共生社会の実現に向けた課題を医療・介護に関わる多職種と市民がフラットに、そしてフランクに様々な角度から語り合う場としたいと思います。

日本のど真ん中「名古屋」に皆様ぜひお越しください、お待ちしております！



医療法人生寿会 理事長
亀井 克典

開催日 2023年9月17日(日)・18日(月・祝)

大会長 亀井克典(医療法人生寿会 理事長)

会場 ウィンクあいち

対象 医療介護従事者・市民

主催 NPO地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク

[メインゲストスピーカー]

鎌田實(医師・作家)、安田菜津紀(認定NPO法人Dialogue for People・フォトジャーナリスト)、上野千鶴子(東京大学名誉教授)、斎藤幸平(東京大学准教授)、玉置妙夢(看護師・僧侶)、太田圭洋(日本医療法人協会 副会長)他



<https://2023chiikikyousei.net/>

かわな病院放射線技師の取り組み

放射線検査は病気の早期発見には欠かせない検査です。しかし、レントゲンやCTは被ばくというデメリットが存在します。特に日本の医療被ばく線量は世界第一位となっており、近年このことが問題視されています。当院では患者さんに安心して検査を受けていただくために、被ばく線量低減に向けた取り組みを行っています。



指針の策定

当院では「放射線安全利用のための指針」を策定し、むやみに放射線の検査が実施されないようにルールを定めています。放射線検査を受ける際は、検査のメリットが被ばくのデメリットを上回る場合のみ認められています。この検査の最適化は医師により慎重な判断がなされています。

医療被ばくに関する研修会

年一回以上の医療被ばくに関する研修会を放射線技師が計画し、放射線技師だけでなく、医師や看護師などに放射線や被ばくについて理解を深めてもらうために開催しています。

被ばく線量の記録

被ばく線量が多いCT検査では、患者さんごとに線量の記録を行い、過度に被ばくしている患者さんがいないかチェックを行っています。かわな病院のCT検査は国が定める基準より低い線量で撮影しています。

検討会を開催

当法人の五条川リハビリテーション病院 放射線技師と定期的に被ばくに関する意見交換を行い、被ばく量に大きな差がないかの検討を行っています。また、放射線科医からも意見を頂きながら、画質と線量のバランスをとっています。

かわな病院では今後も被ばく低減に向けた取り組みを継続して行きます。放射線検査を受ける際、何か不明点や不安なことがありましたら、気軽に放射線技師にお声かけください。

診断参考レベルと当院線量の比較

*mGy

	診断参考レベル*	当院の平均線量*
頭部単純ルーチン	77	55
胸部単純ルーチン	13	5
胸部～骨盤	16	15
腹部～骨盤	18	10

診断参考レベル:放射線診断で用いられる標準的な線量を調査し、これに基づいて導入されるものです

コトホギってなに?

広報誌タイトルのコトホギとは、医療法人生寿会の「寿」の別読みで「寿(ことほぎ)」と読みます。意味は「めでたいこと」「言葉で祝うこと」。どんな状況でも命の大切さを感じながら「コトホギ」を感じて生きていきたい。患者さんや利用者さんに安心の医療・介護を提供するというわたしたちの強く優しい思いを込めました。

医療法人 生寿会 [広報誌] コトホギ 2023年5月発行

発行・編集: 医療法人 生寿会 法人本部

法人本部: TEL(052)858-1502 FAX(052)852-1302

〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通四丁目13番地 朝日生命名古屋東ビル4階

生寿会HP <http://www.seijukai.or.jp>



法人HP



採用情報